

第二回 徒然草エッセイ大賞

つれづれ づれ ひと 徒然人よ、 筆をとれ。

徒然草と八幡市

兼好法師が、つれづれなるまま、
心のおもむくままに綴った、
鎌倉末期の著名なエッセイ集「徒然草」。
八幡市にある石清水八幡宮(現・国宝)の
参詣に臨んだが結局実現できず、
「どんなことにも先輩や経験者の
助言は必要」と結ばれる第52段は、
とりわけ有名です。

京都府八幡市は、今年も優れたエッセイ(随筆)作品を広く募集します。
今回のテーマは「旅立ち」です。

生まれて初めての旅行、あこがれの場所への旅立ち、
新しい生活や社会への旅立ち…人生には様々な旅立ちがあります。
あなた(または、あなた以外の誰か)が体験した印象的な“旅”や“旅立ち”、
未来に描く旅の夢などを、あなたの喜びや驚き、
思いや理由をまじえて紹介してください。

募集テーマ
「旅立ち」

作品募集中!



選考委員

選考委員長

- 山折 哲雄 (国際日本文化研究センター名誉教授)
茂木 健一郎 (脳科学者)
中江 有里 (女優・作家)
田中 恆清 (石清水八幡宮官司)
寺田 昭一 (編集者・PHP総研シニアコンサルタント)
堀口 文昭 (八幡市長)

- 主催: 八幡市 八幡市教育委員会
共催: PHP研究所 協力: 石清水八幡宮
後援: 京都府 京都府教育委員会 歴史街道推進協議会
古典の日推進委員会 (一社)八幡市観光協会
八幡市商工会 八幡市工業会

字数と賞

- 一般の部 [字数:2,000字(400字詰原稿用紙5枚)以内]
大賞1編(副賞20万円) 優秀賞3編(副賞5万円) 佳作5編(副賞1万円)
- 中学生の部 [字数:1,200字(400字詰原稿用紙3枚)以内]
大賞1編(副賞1万円) 優秀賞3編(副賞5千円) 佳作5編(副賞3千円) ※副賞は図書カード
- 小学生の部 [字数:800字(400字詰原稿用紙2枚)以内]
大賞1編(副賞5千円) 優秀賞3編(副賞3千円) 佳作5編(副賞2千円) ※副賞は図書カード

応募締切 平成30年9月30日(日) 必着

郵送・Eメール・ホームページから応募が可能です。

徒然草エッセイ大賞 検索 <http://www.tsurezure-essay.jp>

第二回 徒然草エッセイ大賞 募集要項



募集テーマ「旅立ち」

生まれて初めての旅行、あこがれの場所への旅立ち、新しい生活や社会への旅立ち…人生には様々な旅立ちがあります。あなた(または、あなた以外の誰か)が体験した印象的な“旅”や“旅立ち”、未来に描く旅の夢などを、あなたの喜びや驚き、思いや理由をまじえて紹介してください。

字数と賞

一般の部	2,000字(400字詰原稿用紙5枚)以内 大賞1編(副賞20万円) 優秀賞3編(副賞5万円) 佳作5編(副賞1万円)
中学生の部	1,200字(400字詰原稿用紙3枚)以内 大賞1編(副賞1万円) 優秀賞3編(副賞5千円) 佳作5編(副賞3千円) ※副賞は図書カード
小学生の部	800字(400字詰原稿用紙2枚)以内 大賞1編(副賞5千円) 優秀賞3編(副賞3千円) 佳作5編(副賞2千円) ※副賞は図書カード

応募方法

作品とは別の用紙に ●作品タイトル ●氏名 ●年齢 ●性別 ●職業 ●学校名と学年(小中高生の場合) ●住所 ●電話番号 ●この賞を何で知ったか ●(お持ちの場合は)Eメールアドレスを明記し、必ず作品に添付して、「郵送」「Eメール」「ホームページ内所定フォーマット」のいずれかで、下記へご応募ください。

宛先:「徒然草エッセイ大賞」事務局

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75
八幡市教育部社会教育課 ☎075-983-1111(代表)
✉ yawata@tsurezure-essay.jp
🌐 <http://www.tsurezure-essay.jp> 徒然草エッセイ大賞 検索

応募締切

平成30年9月30日(日) 必着

入選作発表

- 平成31年2月初旬までに、入選者のみに結果を通知します。
- 平成31年3月16日(土)開催の授賞式に併せ、専用HP上で入選作を発表し作品を公表します。
- 大賞3作品は、小説・エッセイ文庫「文蔵」(PHP研究所発行)誌上に採録します。
- 「入選作品集」を作成し、入選者に提供します。

授賞式

- 平成31年3月16日(土)午後1時30分より、石清水八幡宮にて授賞式を行います。大賞および優秀賞受賞者には旅費を負担します(佳作受賞者は自己負担をお願いします)。

<応募上の注意>

- *プロ・アマは問いません。どなたでも応募できます
- *応募は1人1作品に限ります
- *国籍は問いませんが、日本語作品に限ります
- *応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります(入選決定後、著作権問題が判明した場合は入選を取消します)
- *応募作品は返却しません
- *審査や結果に関するお問合せには応じかねます
- *規定文字数以内であれば、文字数の多寡は審査に影響を及ぼしません
- *学校・学級・クラス単位の応募も可能です
- *入選作の著作権は主催者に帰属します
- *応募で得た個人情報(当事業以外の目的)で使用しません

徒然草について

鎌倉～室町期に生きた法師・吉田兼好が、つれづれなるまま、心のおもむくままに綴ったエッセイ集で、「枕草子」「方丈記」と並ぶ日本三大随筆文学のひとつ。人生論や失敗談、心なごむ世間話から社会批評まで、多彩な全243話で構成されています。以下は有名な序文です。

つれづれなるままに 日くらし硯にむかひて
心にうつりゆくよしなし事を そこはかたなく
書きつくれば あやしうこそものぐるほしけれ
(することもなく手持無沙汰なのにかかせて、
一日じゅう硯に向かい、心に浮かぶとりとめ
ないことを、あてもなく書いていると、不思議に心が高ぶってくることよ)

やわたし 京都府八幡市について

京都府南部に位置し、平安京守護のために建立された石清水八幡宮の門前町として古来より発展。国宝・石清水八幡宮を擁する男山、松花堂庭園、桂川・宇治川・木津川が交会する三川合流域、桜並木が見事な背割堤、流れ橋などの歴史・文化・自然を有し、来訪者に様々な“出会いの物語”を提供する観光まちづくりに取り組んでいます。

